

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長生会	代表者	柳 茂	法人・事業所の特徴	利用者、家族と職員間の連携を図り、利用者一人ひとりに事業所の多機能性を活かしたサービスを柔軟に提供し、急なサービスの希望や困りごとにも可能な限り対応しています。また、併設のグループホームと共に地域に根差したサービス事業所を目指し、地域と共に活動しています。
事業所名	ふれあいの家あずま野	管理者	二田 宗城		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	4 人	人	人	人	人	2 人	1 人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・引き続き職員個々のレベルアップに取り組む、特に新人職員の底上げを図る。1.初期支援、4.地域での暮らしの支援、6.連携・協働の3項目を重点項目として取り組む。	1.情報の共有自体は適切に行えたが、職員個人のサービスに大きな差があった。 4.6 本人・家族からの聴き取りにより職員間で情報共有はできていたが、コロナ後消極的で地域との連携が減った。	・前とあまり変わらぬ結果なので創意工夫が必要なのではないか。 ・計画（目標）はしっかり立てられていると思いますが、達成しないこととただの計画になりますので一人も欠けることなく職員全員で取り組んでもらいたい。	・職員の質の向上を図り、利用者様が満足して利用していただける支援をしていく。利用者及び家族のニーズに沿った柔軟なサービスを提供出来るよう職員間の連携も強化。 ・感染症対策をしっかりと取り、サービスを実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・来客者や来客の方が入りやすい、過ごしやすい環境を提供します。 具体的には出入り口の清潔感ある環境整備、職員の気持ち良い挨拶、受け入れをします。	・一人一人が自覚を持ち来客者への対応はできた。清掃もできていた。 来客者等は笑顔で帰られており、少なくとも不快な思いはしていないようだ。	・毎月配布される資料や行事風景から工夫されているように思われる。 ・事業所の前を通るがよく清掃をされており、清潔感がある。 ・門扉があったりや玄関に鍵はかかってなく、開放的である反面防犯上心配だ。	・道路に面した掲示板の見直し。（より自由に見学等出来る看板の工夫） ・防犯対策として警備会社との緊急通報システムの再確認と全職員の防犯意識を高める。 ・外の清掃時、来訪時への明るく、元気な挨拶の徹底。
C. 事業所と地域のかかわり	・あいさつの指導・教育を継続する。 ・より事業所を知って頂くために、地域の活動やイベントに積極的に参加して交流を図る。	・礼節、マナーについては常々指導を行っており、一定の評価をいただいた。 ・活動及びイベントはコロナ後消極的で減ってしまった。	・あいさつは良く出来ていると思う。 ・若い世帯との関りが少ないので、もっと交流できる活動があれば良い。 ・ふれあいカフェの再開を望む。	・地域の方との交流の場を作り、若い世帯の方々にも知っていただく。 （合同消防訓練、グラウンドゴルフ大会、餅つき大会の実施等）
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域運営推進会議やコミュニティカフェ等で、地域の民生委員等と情報を共有し、見守り支援が必要な方に、事業所として関り、協力をしていく。	・運営推進会議の方からの情報はいただいたが、一歩踏み込んだ支援が出来ていない。ふれあいカフェも開催していないため、地域の方との交流が少なく、情報を得られなかった。	・事業所の利用者に関しては散歩や花見をしているところをよく目にしたが、地域との関りは少なかった。 ・コロナ後、皆が消極的になって寂しい。	・地域との交流を深め情報収集を行い、事業所として地域に役立つ支援を行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・事業所の行事が分かりやすいようにポスターや便りを見てもらい知ってもらう。 ・地域でサービスを必要とする方の情報や独り暮らしの方へのサポートについて話し合える機会を設ける。	・会議にて資料を配布する事により事業所の行事等は知ってもらえたが、地域の行事参加には消極的だった。 ・地域住民の困難案件など話はできたが、解決とまではなっていない。	・今まで以上にお互いの行事に参加できれば良いですね。 ・子供会に餅つきを見せてあげたい。 ・介護や介護保険に関する勉強会があるとありがたい。	・感染症対策を十分に行い、事業所にて行う行事にも地域の方々にも参加してもらえよう企画をする（回覧板でお知らせ） ・勉強会等行えるように会議にて日程調整する。
F. 事業所の防災・災害対策	・前回の計画同様に災害時は避難場所として本館やふれあい館の開放、地域と連携して救助活動への職員派遣を行うと共に、地域の災害訓練、講習等に参加させて頂く。	・事業所での消防署立ち合いの訓練には地域の方にも参加してもらったが、地域の訓練には参加できていない。	・災害時に避難所として開放してくれるので助かり、心強い。 ・日頃の訓練が大事ですので、これからも協力していきましょう。	・今後も地域の方と協力し災害、防災に取り組んでいく。 ・外部の講習や訓練の積極的な参加